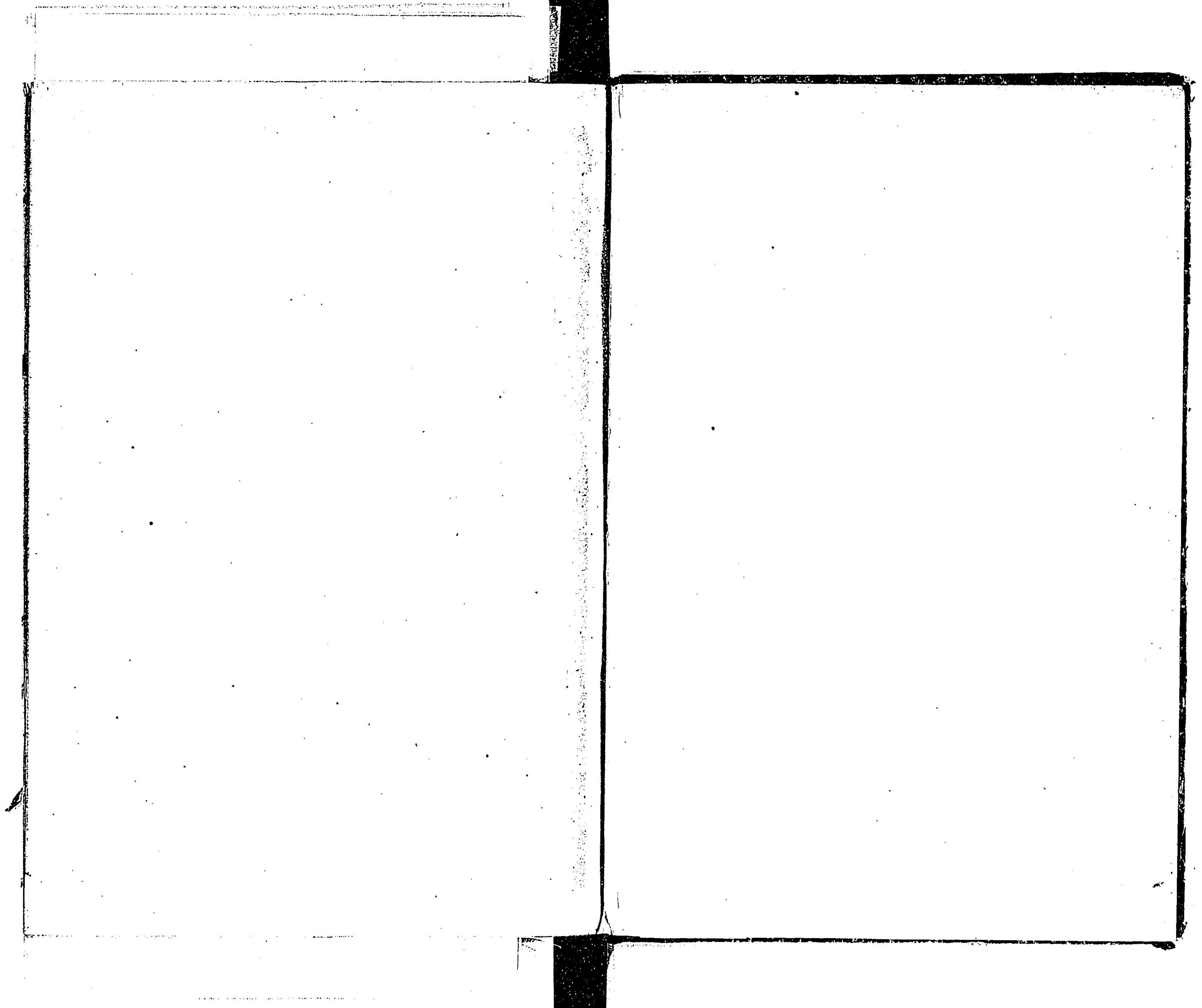


40

156

安藝國豊田郡町村沿革誌

全



安藝國豐田郡各町村沿革一斑序



世事滄桑地名殊甚矣有隨而轉者有隨而改
 者在其境者不可不知在他境者亦不可不知
 也余曾記吾郡內町村沿革之一斑然不免踈
 漏偶質之於某氏々々懇論其口碑之可否與
 其記錄之可證者余於是蒐輯訂補爲小冊子
 以秘篋底矣一夕友人來談偶及地名之改轉
 乃出此冊子以示之爾後乞覽者日益多焉遂

附之印刷公于世以使夫觀者供知其改轉之
資因題一言於其首云爾

明治甲午歲晚

豐南漁者

安藝國豊田郡町村沿革誌凡例

- 一本郡町村ノ沿革ヲ徵スル記録稀ニシテ自他其憾久レ而テ這般
町村制ノ施行ニ際シ合併改稱シタル町村半ニ過ク記録ナキニ
於テハ後輩今日ノ憾アラントナ慮リ其要旨ヲ記シ側ラ從前沿
草ノ一斑ヲ聞見ノ記録ト口碑ニ資リテ之ヲ載ス但シ一點ノ杜
撰ヲ加ヘス又記録ノ文辭ニ脩飾ヲ施サス而テ編者ノ意見ハ其
據ヲ詳ニシテ以テ識者ノ斧正ヲ俟ツ
- 一本書ニ這般ト記セルモノハ町村制實施ノ際明治二十二年三月
ヲ指スモノナリ
- 一這般ノ新村名ハ大概里民ノ撰ニ任シタルモノナレハ數種ノ因
ヨリ成リ或ハ爲ニ古名ヲ失フタル遺憾ナレトセス其大意ヲ記

センニ榎梨豊田ノ如キハ古名ニ復スノ意大河ハ各村名ニ河ノ
字アルト中古大河内ノ名アリシヲ採リタル意ナラシ沼田東西
及ハ東西南北生口ノ如キハ自他トモ通シテ沼田ノ某地生口ノ
某地ト稱フルニ據リタルモノナリ大崎南及西野ハ隣村東野村
ニ對シテ号ケ豊濱久友鷺浦ノ如キハ合併村名字名ヲ片採リ川
源高坂長谷佐江崎大乘ノ如キハ某川ノ源ナレハト言ヒ又ハ村
内有名ノ山名地名等ヲ據トシタルモノニテ深キ意趣アルニ非
スト言フ

一上古中古ノ郷村名ヲ左ニ掲ケテ參考トス

○倭名抄所載郷名

但本郡ハ沼田郡ト（或ハ奴田ト記セルモノアリ訓メタ）
豊田郡ヲ（モト沙田訓マヌダ倭名抄ノ註ニ今沙改豊トア

リ）合併シタルモノナリ（藝藩通志ニ云フ中古いひなる
故にや沼田の名を廢して其地を豊田に併せければ云々又
云フ寛文四年郡名復古の命あり（中畧）安北は高宮とな
り佐東は沼田となりければ安藝佐伯二郡ハ各其故境の半
を失ひ沼田高宮も亦みな其故地にあらずして高田豊田二
郡ハ沼田高宮の地を併せもちて返さゞりければ郡名は古
に復しければ名實相乱る是憾むべきのみ云々）

豊田 登能 能美 訓芳 安宿 榎梨
（以上豊田郡） 今有 安直 沼田 眞良
船木 梨葉 都宇（以上沼田郡）

○沼田西村松江松浦氏所藏舊書記中豊田郡村高ト記セルモノ
、村名左ノ如シ

但其年曆ヲ記セサルヲ憾ム或ハ元和ノ頃淺野氏入封ノ節
ノ記ナラント言セノアリ

豐田郡五十六村

高合五万四千四百十四石八斗五升八合

内

二百五十四石七升

高崎

十二石九斗

同村新開

七百六十九石七斗二升

吉名

一石二斗

同村

九十九石一斗九升

向田浦

三石三斗

同村

七百八十三石八斗二升

木谷

四石二斗

同村

六百五十五石三斗七升

田ノ浦

六石

同村

千七百三十九石九斗一升五合

忠海

二千六百四十石三斗九升

大崎島

十六石七升

同村

二千四百六十六石五斗一升

生口島

三十四石二斗

同村

二百二十七石七斗五升

高根

一石八斗

同村

三百三十八石八斗一升五合

角南

三石六斗

同村

七百三十四石七斗六升六合	奴竹
千五百六十一石二斗六升	本郷
千八百四十六石八斗八升四合	入野
百十六石二斗八升一合	別迫
五百九十石九斗	和木
千百五石五斗六合	小田
三千五百三十三石八斗八升六合	安直
七百三十四石四斗六升六合	荻路
千二百五十四石一斗四升	尾坂
六百二十三石七斗六合	末光
三千二十九石八斗五升一合	船木
五百十四石六斗一升	惣賀

千四百七十三石九斗一升	大草
千二百九十石八斗五升	新羅
七百九十五石二斗二升	小泉
千二百四十石三斗九升五合	下北方
千二百三十六石八斗一升	上北方
二千百二石三斗七升二合	南方
八百二十石八斗九升	田万里
二百七十六石一斗一升六合	大具
二百石二斗	小林
百七十八石二斗	福田
百四十石八升	土取
二百七十六石	大河内

四百五十一石一斗五升二合	中野
九百二十二石一斗七升	小谷
五百十四石九升四合	中河内
二百二十一石九斗五升	下河内
百五十九石七斗	別所
二百五十九石九斗二升五合	良妙
四百十七石一斗四升一合	負田釜山
千七百八十石三斗七升	戸野
千石六斗二升	神戸
七百十一石五斗五升	卯山
五百七十三石七斗六升	納山
二百三十八石一斗八升	上竹仁

八百八十一石六斗四升三合	下竹仁
千六百五十五石六斗七升	久羽
千五百十一石三升	乃美
二百九十七石二升六合	別府
三百八十三石八斗二升一合	鍛冶屋
千二百六十九石六斗二升	清武
千百三十一石一斗	安宿
三百十三石二斗九升七合	下艸井
三百四石	上艸井
六百八十石九斗二升	棕梨

○明治初年藩籍奉還ノ際ノ町村名

瀬戸田 福田 垂水 萩

南^{ミナミ} 中^{ナカ} 本^{ホン} 小^コ 小^コ 小^コ 清^{キヨ} 棕^{ソウ} 福^{フク} 田^タ 下^カ 戸^ト
河^カ 内^{ノウ} 市^シ 坂^{サカ} 林^{リン} 田^タ 武^ブ 梨^リ 田^タ 里^リ 仁^ニ 野^ノ

本^{ホン} 下^カ 七^シ 眞^{マコト} 別^{ワカレ} 上^{カミ} 安^{ヤス} 大^{オホ} 中^{ナカ} 入^イ 上^{カミ} 能^ノ
河^カ 内^{ノウ} 寶^{ホウ} 良^ラ 所^{ショ} 内^{ノウ} 宿^{ヤク} 具^グ 野^ノ 野^ノ 仁^ニ 竹^{タケ} 良^ラ

船^{フネ} 沼^{ヌマ} 別^{ワカレ} (以上沼田南組ト唱)
木^キ 田^タ 下^カ 追^{オヒ} 河^カ 上^{カミ} 和^ワ 小^コ 久^{キウ} 乃^ノ
木^キ 下^カ 土^{ツチ} 萩^{ハギ} 取^{トル} 路^チ 所^{ショ} 戸^ト 井^イ 大^{オホ} 草^{クサ} 造^{ゾウ} 賀^カ 別^{ワカレ} 府^フ 鍛^カ 冶^カ 屋^ヤ

宮^{ミヤ} 名^ナ 澤^{サハ} 東^{トウ} 明^{メイ} 久^{キウ} 高^{タカ} 渡^{ワタリ} 小^コ 片^{カタ} 松^{マツ}
原^{ハラ} 荷^カ 野^ノ 方^{カタ} 石^{イシ} 比^ヒ 崎^{サキ} 瀬^セ 泉^{イハヒ} 島^{シマ} 江^エ

御^ミ 林^{リン} 高^{タカ} 中^{ナカ} 沖^{ウチ} 大^{オホ} 福^{フク} 田^タ 釜^{カマ} 末^{スエ} 下^カ
寺^{テラ} 島^{シマ} 野^ノ 浦^{ウラ} 浦^{ウラ} 田^タ 野^ノ 山^{ヤマ} 廣^{ヒロ} 方^{カタ} 方^{カタ}

原^{ハラ} 中^{ナカ} 向^{ムカウ} 大^{オホ} 豐^{トヨ} 木^キ 忠^{チユウ} 須^ス 末^{スエ} 惣^{ソウ} 善^{ゼン}
野^ノ 浦^{ウラ} 田^タ 長^{チヤウ} 嶋^{シマ} 谷^ヤ 海^{ウミ} 波^{ナミ} 光^{ヒコウ} 定^{テイ} 寺^{テラ}

洲^{シマ} 鹿^カ 田^タ 原^{ハラ} 大^{オホ} 御^ミ 手^テ 洗^{セン} 齋^{サイ} 齋^{サイ} 吉^{キチ} 能^ノ 兩^{リウ} 小^コ 上^{カミ}
江^エ 原^{ハラ} 串^{クシ} 嶋^{シマ} 名^ナ 地^チ 名^ナ 原^{ハラ} 方^{カタ} 方^{カタ}

(以上大崎組ト唱)

(以上浦部組ト唱)

(以上生口組ト唱)

(以上山西組ト唱) 計九十

但善入寺御手洗ハ幕府へ對スル文書ニハ善入寺ハ下北
方御手洗ハ大長ノ吏員連署シ或ハ單ニ下北方ト書セリ
公稱ニアラサリシヲ以奉還後更ニ公稱ノ達アリタリ

安藝國豊田郡町村沿革誌

田万里村

沿革ニ徴スヘキモノナシ這般小谷村ト組合村トナレリ

小谷村

入野村ニ大谷組有之當村者夫ニ對ル小谷組ニ候處年代不相分

別村ニ相成候故ニ氏神モ入野ト同社ニ有之由古老申傳云々村

東伊予官廳へ申出タルユトアルモ詳ナラス這般田万里村ト組

合村トナレリ

入野村

藝藩通志ニ云フ倭名抄賀茂郡の郷名に入農あり此地賀茂に接
けれハ昔ハ賀茂の内なるへし云々

大河村

這般下河内中河内上河内河戸ノ四村ヲ合併シタルモノナリ上河内ハ中古大河内河戸ハ神戸又ハ川戸ノ字ヲ用ヒシコトアリ藝藩通志下河内ノ條ニ云フ倭名抄登能郷あり此村より戸野村まで（下河内中河内上河内河戸宇山戸野ヲ指ス）の地と思はる云々

戸野村

這般戸野宇山造賀ノ三村ヲ合併シタルモノナリ宇山ハ卯山又ハ上山造賀ハ惣賀ノ字ヲ用ヒシコトアリ藝藩通志ニ造賀村ハ賀茂郡造賀村の一谷別れて此郡に入り一村をなせるなるべし云々トアリ年曆等詳ナラスト雖モ賀茂郡造賀村ト連續ノ郷ニシテ氏神モ同社ナリ

竹仁村

這般上竹仁下竹仁ノ二村ヲ合併シタルモノナリ沿革ノ徴スヘキモノナシ

久芳村

倭名抄ニ訓芳アリ藝藩通志ニ云フ今地勢を考るに上竹仁村より下能良村までの四村（上竹仁下竹仁久芳能良ヲ指ス）昔ハ訓芳の郷なるへし云々

乃美村

這般乃美別府能良ノ三村ヲ合併シタルモノナリ能良ハ納山ト稱セシ蹟アリ藝藩通志乃美村ノ下ニ云フ倭名抄に能美郷あり此下二村を合せて舊能美一郷なるへしといふ云々二村ハ別府鍛冶屋ヲ指スモノナリ此兩村トモ乃美村鎮座八幡宮ヲ氏神ト

シ本社棟札ニモ此ノ事アリト云フ

川源村

這般清武鍛冶屋安宿ノ三村ヲ合併シタルモノナリ藝藩通志安宿ノ下ニ云フ倭名抄に安宿郷あり地理を考ふるに清武村も亦もとハ安宿郷の内なるへし云々清武昔は清瀧の字を用ふと云ト藝藩通志ニ記セリ

椹梨村

這般上草井下草井大具椹梨ノ四村ヲ合併シタルモノナリ藝藩通志ニ云フ倭名抄郷名ニ椹梨あり上草井より大具までの五村（上草井下草井椹梨小田大具ヲ指ス）昔ハ椹梨の内と見ゆ云々下草井ハ慶長頃者草井下村ト唱寛保頃下草井村ト改候旨舊記有之云々村吏ヨリ官廳へ申出タルユトアリ

豊田村

這般和木小田ノ二村ヲ合併シタルモノナリ藝藩通志和木村ノ下ニ云フ倭名抄郷名に豊田あり地理を以て考ふるに此の下四村（和木大草福田別所ヲ指ス）の地ならんゆ云々和木ノ内源代定ケ原ノ二字ヲ平坂ニ併セタルユトアリ大草ノ條ニ詳ニス

大草村

這般大草平坂ノ二村ヲ合併シタルモノナリ平坂村ハ明治十五年（一月）廣島縣甲第四号ヲ以テ山福田別所ノ二村及和木村ノ内字定ケ原字源代ヲ裂キ反別三十八町九反七畝五歩ヲ合併平坂村ト改稱スト達アリ藝藩通志別所村ノ條ニ古ハ別野と書けりトアリ山福田ハ従前單ニ福田ト稱フ明治十四年（五月）廣島縣甲第八十三号ヲ以テ山福田村ト改稱ヲ達セラレタリ本

郡ニ福田村ト稱ルモノ三村（山ノ福田浦ノ福田生口ノ福田）
アリ地籍ノ紛雜ヲ來スニヨリ此舉アリ

船木村

倭名抄ニ船木郷アリ藝藩通志ニ云日本書紀にしるす推古天皇
河邊臣をして舶材を求めしむる時臣霹震木を伐しハ此地の夏
にて後此社を（舶材敏神社ヲ云フ）建云々

高坂村

這般小林山中野土取許山眞良ノ五村ヲ合併シタルモノナリ藝
藩通志中野村ノ下ニ以下三村（中野小林土取ヲ指ス）と土倉
郷とよふ古ハ此の三村土倉村なりしと三ツに分け中に在る
を以て名つけしといふ云々又眞良村ノ下ニ倭名抄郷名に眞良
あり此村と別迫村とを合せて今も眞良の郷とよふ云々トアリ

別迫村ハ明治十五年（一月）廣島縣甲第四号ヲ以テ佛通寺ト
合併シ許山村ト改稱ヲ達セラレタリ佛通寺ハ從來所屬ノ村ヲ
シ藩廳直接ニ支配セシモノナリ又山中野村ハ寛延頃之文書ニ
者土倉中野村ト記候古老之申傳土取中野小林之三村土倉村ニ
而中野ニ在城候大隅石見守天正四年落城之頃土取村者其前分
離小林村中野村者落城ノ際分離土倉之村名滅候他町村之者中
野村ヲ中土倉ト今ニ呼來リ候云々村吏ヨリ官廳へ申出タルユ
トアリ山中野村從前單ニ中野村ト稱ス明治十四年（五月）廣島
縣甲第八十三号ヲ以テ山中野村ト改稱ヲ達セラレタリ本郡ニ
中野村ト稱ルモノ三村（山ノ中野大崎ノ中野生口ノ中野）ア
リ地籍ノ紛雜ヲ來スニヨリ此舉アリ

長谷村

這般小坂荻路沼田下ノ三村ヲ合併シタルモノナリ沼田下或ハ
奴竹の字を用ゆ假字なるへしト藝藩通志ニ記セリ又同書小坂
村ノ下ニ昔ハ荻路沼田下も皆當村の内なりし今も三村を小坂
郷とよふといへり云々又村吏ヨリ官廳へ申出タル文書ニ小坂
村荻路村沼田下村故一所一村ニ付云々ト書候舊記沼田下村ニ
有之右者元祿十五年四月十二日付ノ書類ニ候又今之老人之言
ニ慶長六年ニ三ヶ村ニ分村候ト聞傳云々

本郷村

藝藩通志本郷村ノ下ニ倭名抄郷名ニ沼田あり後に此下小坂よ
り沼田下まてを小坂郷といへれと本みな沼田一郷の内にて是
其本郷なるを以ていへく稱するなるへし云々

上北方村

和名抄所載ノ梨葉郷ハ本村及南方下北方善入寺ナルコト書記
事蹟ニモ分明ニシテ今時ナホ自他トモ上北方ト唱フルヨリハ
梨葉ト呼フモノ、多數ナルニテモ知ルニ足レリ中古梨羽又梨
和ト記セリ藝藩通志善入寺ノ條ニ此下四村を梨羽郷とよふハ
四村ハ善入寺南方上北方下北方ヲ指ス云々又南方ノ條ニ昔
ハ梨羽一名なりしを村を分つの日其南を南方北を北方とよひ
しと見ゆ云々文政初年上北方村吏ノ上申ニ曰ク上北方村ト申
者往古梨羽ノ郷ト唱へ居候所北ヲ北方村南ヲ南方村ト二ヶ村
ニ引別レ申候其後川下ヲ下北方村川上ヲ上北方村ト二ヶ村ニ
引別レ夫故當村ヲ上北方村ト唱來リ云々分村ノ際地形ト各自
ノ所有地ニ據リ取捨セシニヤ村界犬牙錯雜就中下北方南方ノ
如キハ最甚シク恰モ基石ヲ布置シタル狀ナリシヲ明治初年地

租改正ノ際交換併裂境界ヲ判然セシメタルコトアリ這般下北方及善入寺ト三村組合村トナレリ

下北方村

沿革ノ一斑上北方村ノ條ニ述フ而シテ本村ヲ裂キテ善入寺ヲ置タル濫觴ハ安永六申年ナリト云フ藝藩通志編輯ノ際下北方村吏ノ上申ニ曰ク往古ヨリ善入寺飛郷共當村庄屋ヨリ一緒ニ支配仕來(中略)安永六申年ニ飛郷ノ事故敷地ニ庄屋役ノ者無之テハ不便理費筋茂御座候旨御思召ニ付夫ヨリ善入寺へ庄屋役被仰付候(中略)尤モ宗旨帖ハ當村ニテ一緒ニ相調兩庄屋書出申候尙社願書等ニテモ千今兩庄屋ニ書出シ(中略)安永六年御紙而ニ善入寺下北方村相分ケ候儀ニテハ無之ニ付心得違不致様下方へモ申付候様之御紙而等モ御座候云々爾來漸

次分村ノ姿ニ至リシモ善入寺村ノ公稱ハ明治十五年(一月)廣島縣ヨリノ達ニヨレリ這般上北方村及善入寺村ト三村組合村トナレリ

善入寺村

沿革ノ一斑上北方村及下北方村ノ條ニ述フ藝藩通志編輯ノ際善入寺吏員ノ上申ニ曰ク當村ハ梨和ノ庄下北方村ノ飛地ニテ別帖ニ相成候年曆相知シ不申宗旨御改帖其外公儀御用ノ節ハ下北方村一帖ニ御座候云々明治十五年(一月)廣島縣ヨリノ達ニヨリ公稱スルニ至レリ這般上北方村及下北方村ト三村組合村トナレリ

南方村

沿革ノ一斑上北方村ノ條ニ述フ而シテ分村ノ年曆不詳ト雖

南方村吏ノ上申書ニ據ルニ明德二年ノ下知狀アリテ安藝國沼田庄梨羽郷南方弁海名主職云々トアリト言リ果シテ然レハ足利幕府ヨリモ以前ナリシヲ知ルヘシ又村内ノ日名内小梨十八原大茅小吹之五組者〔字ヲ〕往昔接村賀茂郡下野村ヲ引分ケ當村ヘ合セ候由申傳及別紙寫書〔日名内神社及小梨神社ノ由ニテ寛永四年頃ヨリ伊勢太夫ナルモノ筋目アリテ祭主トナリタリ云々其孫伊織ヨリ延寶九年ニ村吏傳ヒ藩廳ヘ差出タル寫ヲ言〕ニ有之其証者當村者小方島神社〔片島村ニアリ〕之氏子ニテ右五組者全社之氏子ニ無之且樂音寺〔本村ニアリ〕モ南方村下北方村上北方村善入寺共一同氏子ニ候ニ右五組者全寺之氏子ニモ無之云々村吏ヨリ官廳ヘ上申シタル直アリ

沼田西村

這般惣定松江小原ノ三村ヲ合併シタルモノナリ而シテ又小泉

村ト組合村トナレリ惣定松江小原共和名抄所載ノ安直郷ナリ其他納所本市七寶片島末廣モ又同シ該各村地誌帖〔檢地帖ナリ〕ニ安藝國豊田郡安直内某村地誌帖トアリ寛永ノ記ナリ而シテ卷首ニ載ス豊田郡古高記ニ安直村アリテ八村名ナシ由之觀之ハ檢地ナセル寛永頃分村セシモノナラン歟藝藩通志納所村ノ下ニ以下八村を安直郷とよふ云々ト記セリ

小泉村

藝藩通志須波村ノ下ニ以下十村を浦郷とよふトアリテ其内ニ本村ヲ加ヘタリ其他徵スヘキモノナシ這般沼田西村ト組合村トナレリ

沼田東村

這般七寶本市片島末廣納所釜山末光兩名ノ八村ヲ合併シタル

モノナリ七寶本市片島末廣納所ノ五村沿革ノ一斑ハ沼田西村ノ條ニ述フ藝藩通志本市ノ條ニ此邊古海灣なりし時市をなせし所にて村内の地名も市巻の唱へを存す云々釜山末光兩名ノ三村ハ井迫ト呼藝藩通志兩名の下ニ此以下三村ヲ井迫の郷とよふ井迫ハ今有の轉訛ならんともいへれと此邊ハ多く砂土の地なれハ其まゝいさこの義にてもあらん此村名昔ハ良妙の字を用ふ云々又同志村里總論ノ部ニ云フ和名抄所載の今有の郷ハ或人たもへらく今の兩名末光釜山三村の邊なるへきハ今ハ此地を井迫の郷といへとも迫ハ廻の字の誤まりにて井廻ハ今有の轉訛なるへし云々釜山村ハ卷首ニ載ス豊田郡古高記ニハ負田釜山トアリ藝藩通志釜山ノ條ニ古ハ生田釜山村といへリトアリ釜山ノ内ニ負田(オホダ)字アリ土人ハ勿論他郷人

迄モ其地ヲ釜山ト言スシテオホダトノミ呼フ或ハ往昔各別ナリシヲ併セタルニハアラサル歟

田野浦村

沿革ノ徵スヘキモノナシト雖和名抄所載ノ安直郷ノ内ナラシ此地北七寶村(今ノ沼田東村)ニ接シ西南能地村(今ノ佐江崎村)ニ連続ス七寶能地共安直タリシ事蹟アリ而シテ本村内壬生(今仁部ト書ス)ニ壬生忠岑ノ古蹟アリ墳墓アリ忠岑ノ辞世ナリト傳へ本村ノ古書ニモ記セル和歌ニ西の海安直の沖になく鷗今宵めきりに聞はつる哉ト其様如何アルヘキ藝藩通志ニモ下ニ誌ス如ク疑フテ載タレトモ本村ヲ安直ノ内トスル引証ノ一端ニハナルヘシ(仁部)田野浦村の地名壬生の轉稱なるへしといふ壬生忠岑の古跡なりとて屋敷址一二畝其傍

に没字卵塔あり又忠岑の靈を祭りしとして若宮といふあり且生傳に忠岑辞世の歌といふありこゝあやししく信じてたし云々

須波村

沿革ノ徴スヘキモノナシト雖用角南とも書けりと藝藩通志ニ記セリ田野浦村ニ東北西トモ孕ンタル地ナレハ安直ノ内ナラシト
ノ這般佐木小佐木ノ属島ヲ裂キ向田野浦村ト併セテ鷺浦村トセリ

佐江崎村

這般能地渡瀬ノ両村ヲ合併シタルモノナリ能地ハ藝藩通志ニ和名抄所載ノ安直ノ内ナリトシ下ノ如ク記セリ果シテ然シ現
在ノ字ニ味瀉（アツカヌト稱ス）アリ通志ノ古蹟名勝ノ部ニ（淳田門浮鯛）（ヌメトウキヌホト傍訓ヲ付セリ）日本紀仲哀

天皇二年夏六月皇后從角鹿而行之到淳田門中其處之魚至于六

月常傾浮如醉其是之緣也按するに當郡能地村青木迫門ハ和名抄に出る沼田郡安直郷（ヌメユホリアゲト傍訓ヲ付セリ）にあたりて今も年々まさしく浮鯛ありて皇后の故事を云傳へり
淳田門の青木迫門にあたるハ疑へきにあらず但浮鯛の時候を日本紀にハ六月とありて今ハ二三月の比なり大抵立春より四十日後より立夏の前數日までの内なり此時節の相違あるのみ詞花集大江匡房の歌に春くれハあぢいたの海一めたに浮てふ魚の名ころ惜けれと讀たまへるを見れば春の比に浮ことも久しき事なり云々）又頼惟完ノ味方志ニ（按吾藝味方之有浮魚紀載已來至今茲寛政十年戊午一千有六百餘年蓋藝東瀕海之地有能地浦屬安直郷南與香根島對其間今日青木瀬戸古淳田門

也是爲味方乃東西舟路也歲二月至三月天氣晴朗時棘鱸魚漂流
如可拾然捕之少觸乃撻刺而往不可復得也（中畧）然其地又不
保無滄乘之變乃一千有六百餘年之邈至今猶古時所稱豈可不著
稱耶地今在豐田郡內古沼田郡淳田與沼田讀同能地地方有沼田
安直鄉安直與味亦讀同味方又作味瀉歌詞或稱味方海云々一往
昔能地ヲ野牛ト記セシユトアリト見ニ渡瀨村ハ忠海村之内ニ
有之候處貞觀年中一村ト相成候旨申傳云々村吏ヨリ官廳ノ問
ニ答タルコトアリ

忠海町

従前忠海村ト稱セシヲ這般忠海町ト稱ルコトニナレリ藝藩通
志編輯ノ際村吏ノ上申ニ曰ク當村者舊ト宮床浦之分地ニテ（
宮床浦今本町ノ小字ニアリ）古者此邊惣テ沼田之庄ニ屬安直

瀉ト申候由（中畧）古説ニ隣郷能地渡瀨モ舊ト忠海之内也御
高モ三ヶ村合忠海昔之村高ニ符合云々果シテ然リシ歟卷首ニ
載ス古高記ニ忠海ノ石高ナ千七百三十九石餘トシテ能地渡瀨
兩村ノ名ナシ明治初年現在ノ三村石高ヲ合シ之ヲ照合スルニ
六石八斗四升八合ノ差アルノミ且又源貞世ノ鹿苑院殿嚴島詣
ノ記ニ下ノ如ク記セリニフノ浦ハ田野浦ニシテ同村ノ條ニモ
言フ如シ而シテ本町トハ四五海里ヲ隔ツ端舟ニテ本町ニ揚陸
セラルヘキ理ナシ恐クハ該地ハ能地ニハアラサル歟（前略）
かりをとりて内の海たのみたのきひきしま過てにふの浦と
いふ所にとまらせ給東風むひて浪あらけれははらくの
くらせたまふ日の入ほとに風すこしなきたり又御船をこひせ
らる夜に入てなを雨風たとろくしく成し舟とも思ひく

にこきわめられて御ふねはるかにさめりけるをもしらず御船
を洲にせしめてゆめさりけれはし舟をめてしたゝのうみ
浦といふ所のいさぎにありし小屋にやとらせ給ひける
程にしほみちきて御船にきぬとてまいれり又めてこがせ給
云々(康應元年ナリ)

大乘村

這般浦福田高崎ノ二村ヲ合併シタルモノナリ藝藩通志ニ云フ
倭名抄所載郷名都宇あり都宇ハもと津の義にして海邊の稱な
るへけれハ今の忠海以西の海邊より山手をめぐりていへりし
云々以西ハ浦福田高崎ヲ指シタルナリ卷首ニ載ス豊田郡古高
記ノ高崎村ノ石高ハ明治初年現在ノ村高ニ八拾有餘石超過ス
ルヲ見レハ中古マテハ福田ト一村ニテハアヲサリシ歟浦福田

ハ從前單ニ福田ト稱フ明治十四年(五月)廣島縣甲第八十三
号ヲ以テ浦福田村ト改稱ヲ達セラレタリ(事由大草村ノ條ニ
アリ)

吉名村

沿革ノ徵スヘキモノナシ村吏ヨリ官廳ヘノ上申ニ往古者吉奈
村ト書延喜年代者曰ニ吉名之字ヲ用云々

木谷村

沿革ノ徵スヘキモノナシ

豊濱村

這般大濱豊島齋ノ三村ヲ合併シタルモノナリ沿革ノ徵スヘキ
モノナシ但豊島ノ内ニ大濱ノ飛郷アリシヲ明治初年地租改正
ノ際豊島へ合併シタルユトアリ藝藩通志齋島ノ條ニ云フ昔齋

内親王幣物料の地なる故齋島と稱すといふ云々

久友村

這般久比沖友ノ二村ヲ合併シタルモノナリ久比ハ寛永十五年八月藩吏川崎多左衛門檢地ヲナシ地詰帖ニ久比村ト書載下附セシ以來稱來ルヨシ言傳フ旨村吏ヨリ官廳へ申出タルコトアリ或ハ然ン卷首ニ載ス古高記ニハ單ニ大崎島トノミアリテ各村名ナシ沖友ハ大長村ノ一部落ナリシヲ明治十九年分離獨立村トナリシモノナリ

大長村

藝藩通志ニハ大長村御手洗町ヲ並列シテ書載シ下ニ以下三名共に（久比大濱豊嶋ヲ指ス）大長嶋の内なり此地村と町兩名に分てと町ハ村の東の一聚ヲ指す昔ハ此島を總稱して御手洗

島とよひ繫泊に善き湊なり神功皇后御船を繫られし所といひ傳へりまた大長を以島の總稱とし又大崎下島とも稱せり云々往古ハ王城又大條ト書候由云々村吏ヨリ官廳へ申出タルコトアリ明治十九年字沖友ヲ分裂シテ一村トナス

御手洗町

従前幕府へ對スル文書ニハ大長ノ吏員ノ連署ヲ要ス公稱ニアラサリシヲ以明治十二年八月廣島縣ヨリ公稱ヲ達セラレタリ市街ノ姿ニ至リシハ寛文六年ヲ創トスル旨町吏ヨリ官廳へ申出タルコトアリ

大崎南村

這般明石方沖浦ノ二村ヲ合併シタルモノナリ沖浦ハ藝藩通志ニ昔ハ葛の沖と稱せしといふ云々又明石方村吏ヨリ明石方原

田大串沖浦ノ四ヶ村者往古一村ニテ村名明石方ト唱候所何時頃歟沖浦村原田村之二ヶ村ヲ分ケ又其後寛永年代原田村ノ内ヲ分ケ大串村ト致候其一証者氏神モ四村一社之由申傳候云々官廳へ申出タルユトアリ

西野村

這般原田大串ノ二村ヲ合併シタルモノナリ藝藩通志大串村ノ下ニ古ハ原田村の飛郷なりしハ寛永の頃より別村トす云々又享保二年酉十月廿六日原田村庄屋市郎右衛門ト大串村庄屋市郎兵衛連署官廳へ差出シタル書面ニ先年者原田大串一村ニテ原田村ト唱大串之義者先年枝郷ニテ大串ト斗リ唱申候由原田村古帖ニ御座候則先高四百八十七石五斗九升ニテ相勤申候所ニ大串遠所故諸通路双方世話ト申御願之上寛永十五年之御檢

地ヨリ二村ニ相成申候就夫山海之分リ難成唯今ニ至ル迄端々共右両村入相ニテ御座候ト記セリ

大崎中野村

沿革ノ徴スヘキモノナシ從前單ニ中野村ト稱セシヲ明治十四年（五月）廣島縣甲第八十三号ヲ以テ大崎中野村ト改稱ヲ達セラレタリ（事由高坂村ノ條ニアリ）

編者曰和名抄所載ノ郷名大概某地タルヲ知ル獨リ都字其所ヲ失フ藝藩通志ニモ倭名抄ニ所載都字あり都字ハもと津の義にして海邊の稱なるへけれハ今の忠海以西の海邊より山手をおけていへりしハト言へり按ルニ忠海以西ニハ浦福田高崎ノ小村二箇ノミ豈倭名抄所載ノ郷名斯ル狹隘ノ地ナラシヤ編者之ヲ探ルユト久シ而シテ大崎中野村ノ字ニ津部（

ツフト稱フ該村民ニ之ヲ姓氏トセルモノアリノ地アルヲ
發見セリ該村ノモト本郷トモ言ヘキ地ナリ都宇ノ古名存セ
リト言ヘシ而テ上古ノ驛馬ノ順次藝藩通志ノ所論神社ノ所
在及地形村名又南方村吏ノ申牒等ヲ據トシテ想フニ都宇ノ
郷ハ田万里村以南賀茂郡西野村新庄村（今ノ莊野）仁賀（
今ノ賀永ノ内）東野村下野村下市村（今ノ竹原町）本郡高
崎村浦福田村（今ノ大乘）吉名村木谷村及大崎島一圓ヲ稱
セシハ疑ナキモノ、如シ考証ノ記録等ヲ左ニ附記レ以テ識
者ヲ俟ツ

延喜式

安藝國驛馬眞良梨葉都宇左宇鹿附木綿大山云々（都宇
ハ梨和（南方及北方）ノ西ニ接シタル郷ナルヲ知ルヘ

シ

藝藩通志

小早川家譜を按に四郎政景正嘉二年父本佛より竹原都
宇の地頭職を配與すとありしゆれハ都宇ハ竹原近東の
地なるへし（近東トセシハ不是ナリ）

樂音寺古神名帖

沼田郡ノ部ニ加茂明神アリ而テ今ノ豊田郡ニハ之ニ擬
フヘキ古社ナシ（沼田郡ヲ豊田郡ト合併シタルユトハ
前ニ述フ）賀茂郡竹原ニ加茂社アリ竹原郷ハ往古沼田
郡ニ屬セシヲ知ルヘシ但シ藝藩通志ニハ下ノ如ク記セ
リ（樂音寺古神名帖沼田郡の部加茂明神賀茂郡にハ古
キ大社あれと其郡へのせされハ（中畧）郡を誤れりゆ

同上

沼田郡ノ部ニ舍利屋明神アリ同上賀茂郡東野村有谷ト云フ地ニ舍利弗神社アリ前考ニ準ス但藝藩通志ニハ下ノ如ク記セリ（賀茂郡竹原東野村有谷といふ地に舍利弗神社あり隣郡なれハ誤テ當郡へ入れたるハ別ニ所考なし）

同上

沼田郡ノ部ニ有屋明神アリ同上賀茂郡東野村ニ有谷ト云フ地アリ其地ニ古社アリ前考ニ準ス但藝藩通志ニハ下ノ如ク記セリ（説舍利屋明神に同し）

南方村ノ舊記

該村ノ條ニ載ス如ク日名内小梨十八原大茅小吹ノ五字

ハ賀茂郡下野村ヲ裂キ南方村へ併セタルモノナリト言ヘリ地形ニヨルモ果シテ然ン併裂ノ支由ヲ知ル能ハス而シテ入野村又ハ造賀村（今ノ戸野村ノ内）ノ條ニ載セル藝藩通志ノ所論ニ依リテモ想フニ中古賀茂豊田兩郡土地交換ノユトアリシヤ疑ナシ恐クハ加茂社賀茂郡ヲ牽強附會セントシテ更換併裂ヲ來シタルニハ非サル歟

地勢

單ニ見レハ豊田郡吉名木谷ノ二村ハ飛地ニシテ賀茂郡ニ孕レタルモノ、如キモ全部ト島嶼羅列ノ景狀ヨリスレハ其南面ハ一圓ニ豊田郡ニシテ又北面ノ山脈木谷ト田万里接近シテ其斷間纒ニ直徑壹里程ニ過ス此狹隘ヲ

ル地ヨリ縁ヲ引竹原郷ノ六箇村賀茂郡ニ属セルヲ以テ
彼ノ六村ヨソ飛地ノ形状ヲナセリ豊田郡ニ属セシモノ
トスレハ郡境判然ナリ

村名

賀茂郡竹原郷ニ下野村アリ上中ノ稱ナク豊田郡大崎島
ニ東野村アリテ西南北ノ稱ナシ（今ノ西野村ハ東野村
ニ對シテ單ニ号ケタルモノナレハ本論ニ關係ナシ南村
モ又同シ）又中野村アリテ上下ノ稱ナシ彼我共村名不
完全ナリ今都宇ノ一郷トシテ觀察スレハ豊田郡ノ中野
村ハ全部ノ中央ニ位シ豊田郡ノ東野村賀茂郡ノ東野村
共ニ（兩東野村モト一村ナリシ歟）其東北ニアリ賀茂
郡ノ西野村其西北ニ位ス賀茂郡ノ下野村又中野村ニ對

シテ其稱ノ適當ヲ覺フ況ンヤ豊田郡ノ原田大串明石方
沖浦ヲ土俗上ニ村ト云フ中野村川流ノ源ナルニヨルヘ
シ（大崎南村ノ條ニ述ルコトク此四村分村シタルヲ以
上野村ノ稱ヲ失フタルニハ非ル歟）茲ニ於テ都宇郷ノ
東西上中下ノ稱完全スト言フモ謬言ニ非ル如シ

古老ノ説

明治初年各郡村界ヲ更正スルノ舉アリ吉名木谷ヲ賀茂
郡ヘ合併ノ説アリシ際木谷村光保某之ヲ拒ム辭ニ左ノ
コトアリ前項々ニ照シ一考ノ價アルモノ、如キヲ以附
記ス

吉名木谷カ飛地ニハ非ス祖先ノ申シ傳ヘニ賀茂郡竹
原ノ村々ハモト豊田郡ノ内ナリシヲ往昔村ヲ交換レ

ヲ賀茂郡ニナリ吉名木谷モ賀茂郡ニスルト仰付ラレ
タルヲ吉名木谷ハ居リ合ニ至ラス御直訴スルトテ混
雜シ終ニ兩村ハ其儘ニナリタルナリ兩村ノ外ニモ此
類アリシヨシ故ニ何等ノユトアリテモ祖先以來ノ言
ヒ傳ヘアルニヨリ云々

東野村

沿革ノ徴スヘキモノナシ

高根島村

沿革ノ徴スヘキモノナシ但古老ノ言ニ古ヘハタカチシマト唱
ヘタリ今モナホタカチト呼フモノアリト云フ從前高根島トノ
ミ書來リシヲ這般高根島村トスルユトニナレリ

瀬戸田町

這般瀬戸田町澤村ヲ合併セシモノナリ瀬戸田町吏員ヨリ官廳
ヘノ上申ニ(文政二年)當町ノ儀ハ往古北之庄南之庄ト號候
由其時代ハ東之方澤村沖ト鹿田原村之間ヨリ只今之作道町古
井地新町沖西之方へ潮通行之瀬戸ニ御座候處其後築止メ只今
之通町ト相成候由申傳ニテ年曆相知レ不申候(中略)往古者
瀬戸田町福田村鹿田原村澤村四箇村一村ニ御座候由申傳ヘ右
之趣ニ御座候哉御本帖(檢地帖ナリ)右四ヶ村一帖ニテ先年
ヨリ當町ニ所持仕候云々該四村境界犬牙錯雜ナリシヲ明治初
年地租改正ノ際併裂交換セシユトアリ藝藩通志ニ云フ當町古
ヘハ北ノ庄南ノ庄とよへりとの時迫門ありしを後填て田とす
故に地名も改むと見へたり云々

西生口村

這般生口福田垂水ノ二村ヲ合併セシモノナリ生口福田ハ單ニ
福田ト稱セシナ明治十四年（五月）廣島縣甲第八十三号ヲ以
生口福田村ト改稱ヲ達セラレタリ（事由大草村ノ條ニアリ）

南生口村

這般荻宮原御寺ノ三村ヲ合併セシモノナリ御寺者往古田野浦
ト稱候處後白河帝御綸旨ヲ光明坊ニ賜又皇女如念尼御在住ヨ
リ尊稱シ御寺ト唱田野浦之稱自然ニ消滅候由古老ノ申傳又光
明坊略縁記ニ有之ト村吏ヨリ申出タルユトアリ藝藩通志ニ云
フ村内光明坊に皇女如念尼栖宿あり一より御寺といふと云
々

編者曰此地ヲ田野浦ト稱シタリト言フニヨリテ想フニ生口
全島ハ往古今ノ田野浦ト一郷名ナリシニハ非ル歟其地勢及

向田野浦ノ稱等ニヨリ考フヘキモノナリ果シテ然レハ生口
全島モ倭名抄所載ノ安直郷ノ内ナルヘシ

東生口村

這般原洲江ノ二村ヲ合併セシモノナリ

名荷村

藝藩通志ニハ茗荷トアリ名ノ字ニ改メシ年月不詳

北生口村

這般生口中野鹿田原林ノ三村ヲ合併セシモノナリ生口中野ハ
單ニ中野ト稱セシナ明治十四年（五月）廣島縣甲第八十三号
ヲ以生口中野村ト改稱ヲ達セラレタリ（事由高坂村ノ條ニア
リ）

鷺浦村

這般向田野浦村ト須波村ノ屬鳴佐木及小佐木ヲ裂テ合併シタ
ルモノナリ

4/16
安藝國豊田郡町村沿革誌 畢

明治二十八年五月六日印刷
明治廿八年五月十一日出版

廣島縣豊田郡久友村三拾五番邸
全縣全郡忠海町四拾番邸寄留

著作者兼發行者 高橋 一雄

全縣全郡忠海町四拾番邸

印刷者 西川孫兵衛

全縣全郡全町四百八拾三番邸

印刷所 西川活版所

田 圃 池 西 川 澁 淵 復

全縣全推全田四百八條三番田

田 圃 卷 西 川 澁 淵 復

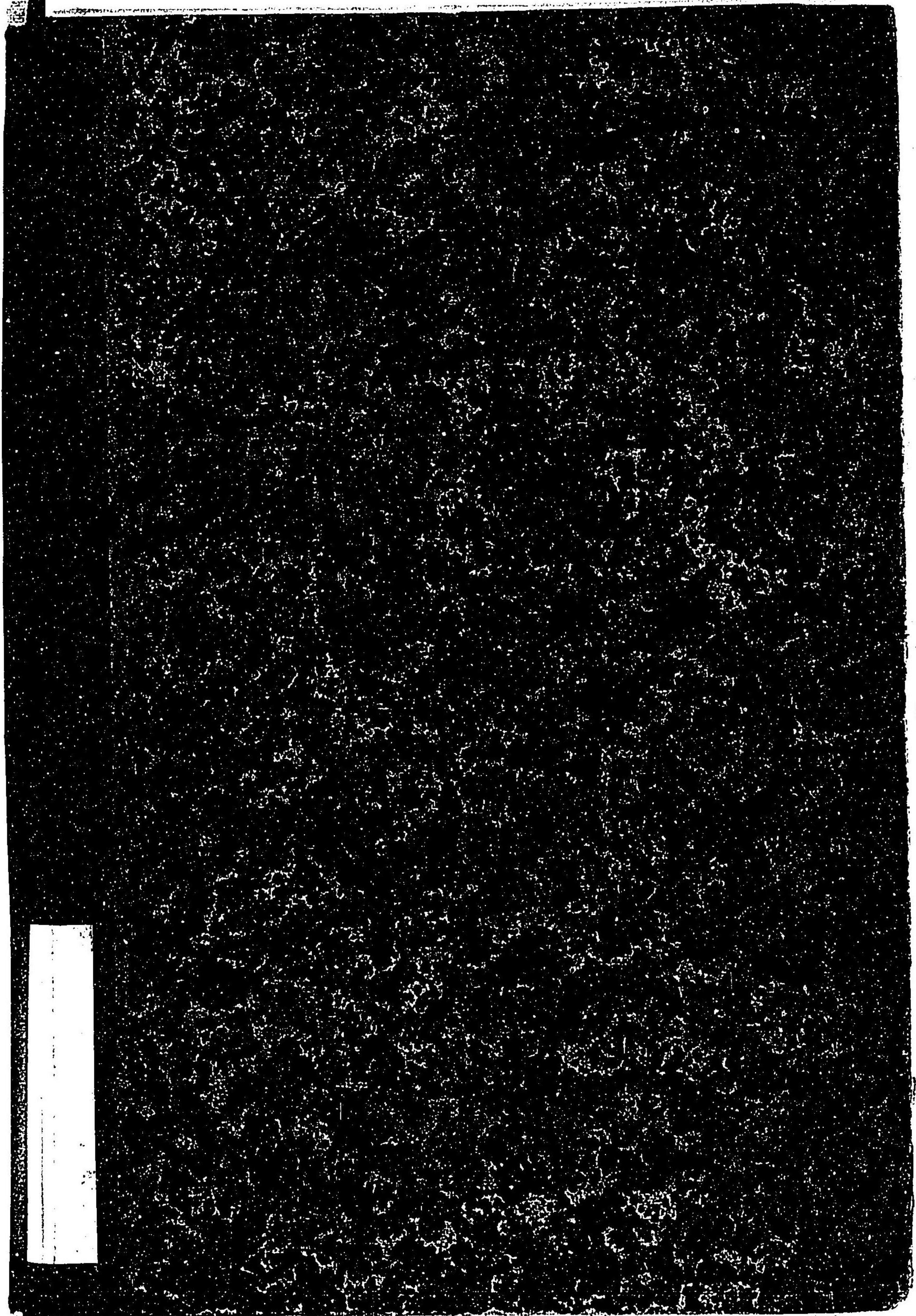
全縣全推忠新田四條番田

善 濟 善 兼 澁 行 善 高 縣 一 縣

全縣全推忠新田四條番田
與高縣豐田福及玄詠三條番田

田 圃 池 西 川 澁 淵 復

田 圃 池 西 川 澁 淵 復



025737-000-7

40-156

安芸国豊田郡町村沿革誌

高橋 一雄/著

M28

ADC-3271

